

あなたと議会をむすぶ

議会広報

平成28年11月  
第148号

# あじがさわ

発行…青森県鰺ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰺ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



## かかし祭で地域を元気に！（中村地区）

地域の風物詩となった「かかしの里づくり」は今年15周年を迎えました。10月8日には恒例のかかし祭が開催され、五穀豊穡と地域の安全を祈願し、かかしを供養。その後、中村公民館では保育所園児の太鼓や遊戯、小学生と地域の方達による登山囃子の演奏、婦人会のダンスなどが披露され、各世代が集う楽しい一日となりました。

9月  
定例会号

- 2～3 平成27年度決算を認定
- 4 第3回定例会のあらまし 街路灯整備等に予算補正
- 5 決算審議・監査審査意見
- 6 特集 まちの財政状況 ほんとうはどうなの？
- 7 議員活動 県立高校再編計画学習会を開催
- 8～11 夜間議会開催 4議員が一般質問
- 12～14 議員視察リポート 七里長浜港の可能性・  
議会改革先進地の取り組みを学ぶ

# どういかにされたか **チェック** 各会計・水道事業会計決算を

# 認定



決算特別委員会

どんな事業に使われたのかしっかり審査



総務文教常任委員会



産業建設常任委員会

平成27年度の一般会計は議員全員による決算特別委員会(東條一彦委員長)を設置して審査。その他の特別会計、企業会計決算等は総務文教・産業建設の各常任委員会に付託。それぞれ審議した結果、議会最終日の本会議において、すべての会計決算を認定しました。

## 平成27年度 各会計決算状況

会計別	歳入	歳出	差し引き	地方債(借金)残高	
一般会計	70億4826万円	69億3377万円	1億1449万円	99億8813万円	
特別会計	国民健康保険事業	19億9136万円	19億8516万円	620万円	-
	簡易水道事業	3億2945万円	3億2108万円	837万円	7億8140万円
	農業集落排水事業	1億4160万円	1億4109万円	51万円	13億876万円
	小規模水道事業	680万円	363万円	317万円	3563万円
	公共下水道事業	2億9060万円	2億8811万円	249万円	26億957万円
	墓地公園事業	20万円	7万円	13万円	-
	介護保険事業	14億7797万円	14億1625万円	6172万円	-
	後期高齢者医療	1億1418万円	1億1171万円	247万円	-
	水産業振興事業	2664万円	2447万円	217万円	-

※単位を万円で表示しているため差引額が一致しない場合があります。

## 平成27年度 企業会計決算状況

水道事業	収益的収支			資本的収支		
	事業収益	事業費用	差し引き	資本的収支	資本的支出	差し引き
	1億8089万円	1億5985万円	2104万円	1億7684万円	2億4892万円	△7208万円
地方債残高 10億4036万円						

※資本的収支が7208万円の不足となったため、当年度分損益勘定留保資金6722万円・過年度分損益勘定留保資金76万円・繰越利益剰余金処分額410万円で補てん

各委員会の審査を経て、全会一致で認定



**平成27年度  
決算**

**元気推進のまちづくりに  
昨年度より 2億8710万円縮減  
一般会計 69億3377万円**

27年度に残ったお金  
**1億1449万円**

●**実質収支**  
(黒字) 8722万円

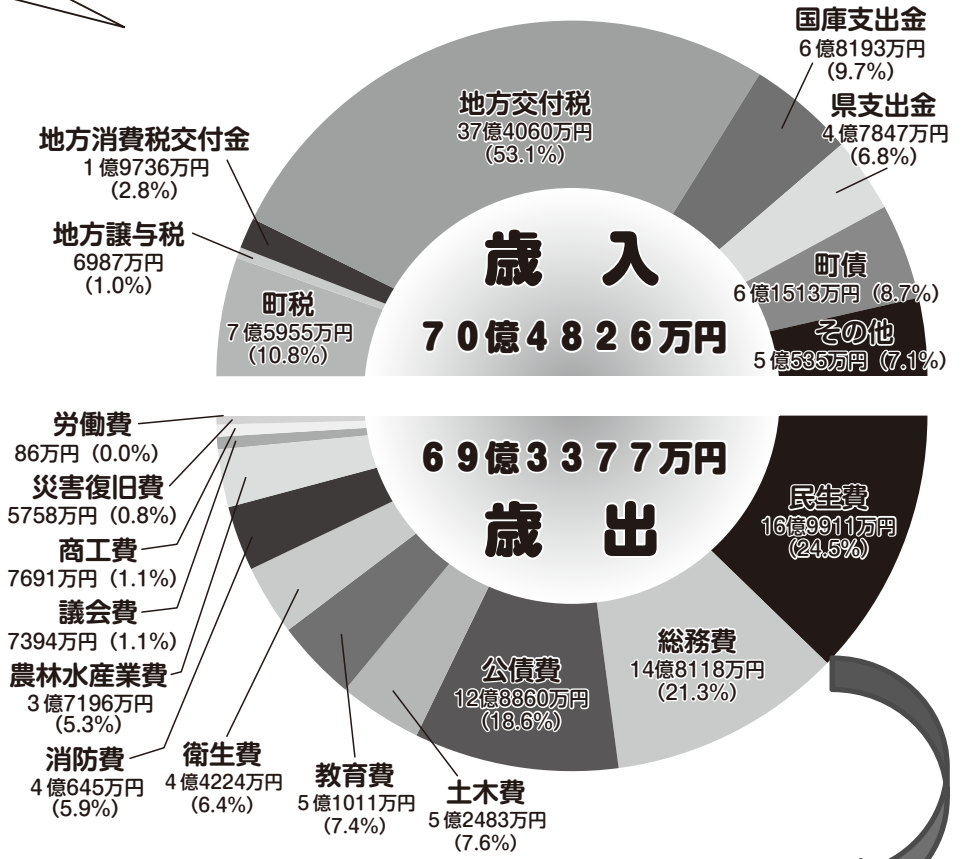
そのうち約半分を  
▽財政調整基金に積立て  
(貯金) 4400万円  
▽28年度に繰り越し  
4322万円

●28年度の特定事業に  
繰り越し2727万円  
(使いみちが決まったもの)

【地方債現在高】  
(町の借金)  
**99億8813万円**  
※昨年度より  
5億3177円減少

【財政調整基金】  
(町の貯金)  
**3億9700万円**  
※昨年度より  
2億3662円増加

**一般会計決算の内訳**



◆実施した主な事業など◆

- スクールバス運行委託料 (小・中学校) 9871万円
- スクールバス目的外運行委託料 (部活動等) 1471万円
- 新消防庁舎建設設計委託料 2705万円
- あじがさわ未来応援寄附金謝礼 (地場産品) 2516万円
- 元気あふれるまち再生事業 (各団体への補助金) 127万円
- プレミアム商品券発行事業への補助金 2229万円
- 健診 (健康診査16歳まで拡充)・がん検査等の委託料 2054万円
- 児童医療費無償 (小学生まで) の助成 406万円
- 子育て世帯商品券交付事業の委託料 985万円
- 津波ハザードマップ作成業務委託料 370万円

鱈ヶ沢町の財政状況

**財政指標》健全基準はクリア!**

健全化判断比率	鱈ヶ沢町		早期健全化基準
	平成27年度	平成26年度	
実質公債費比率	16.9%	18.5%	25.0%
将来負担比率	196.5%	225.3%	350.0%
資金不足比率 (公営企業会計)	—	—	経営健全化基準 20.0%

前年度より改善

「—」は資金の不足額を生じていないことを示す。  
▶公営企業会計 (水道事業・簡易水道事業・公共下水道事業・農業集落排水事業の各会計)

# 全町内の街路灯LED化に向けて(3年計画の予定) 鳴沢地区の街路灯取替えに1000万円補正

## 第3回 定例会

9月8日~15日



2回目の夜間議会(一般質問)を開催

平成28年第3回定例会が、9月8日から9月15日までの8日間の日程で開かれました。  
平成27年度町各会計決算、条例改正案、人事案など35件のほか、町健全化判断比率等の報告3件、意見書案1件が提出され、全会一致で可決、認定、同意、承認されました。

一般質問(9月13日)は、昨年引き続き夜間に開催し、4人の議員が質問しました。傍聴者は昨年より少なく、21人でした。(一般質問の内容は8~11ページに記載)

また、最終日には、町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、指名推選の結果、それぞれ4名が決定となりました。

### 第3回定例会に上程された主な議案等

▽平成28年度町一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ7670万円を追加し、歳入歳出予算総額を72億9159万円としたもの。

主な補正額(歳出)は次のとおりです。  
(予算額は、一百万円未満を切り捨て表示)

◇情報セキュリティ強化対策委託料 1674万円

◇公衆街路灯取替事業費 1000万円

※街路灯のLED化(鳴沢地区)

▽専決処分の報告

◆平成28年度町水道事業会計補正予算 1326万円

建設改良費(重要給水施設配水管事業)

※舞戸町岩谷地区のJＲ軌道横断に係る工事等の増額を承認。

▽町教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、富田名重氏、川村孝淳氏の後任に両氏を任命することに同意。

・山崎 康裕氏(本町)  
・安田由賀子氏(日照田町)  
(任期)平成28年10月24日から4年

▽浜横沢財産区管理会管理委員の選任

欠員となっていた管理委員に佐藤君雄氏を選任することに同意。

(任期)残任期間の平成30年4月27日まで  
◎意見書案第2号  
「安全・安心の医療・介護を求める意見書」

【内容】看護職・介護従事者の環境改善、医師・看護職・介護従事者の十分な確保を求めるもの。

【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣。

## 選挙管理委員・補充員を 指名推選により決定

### ▽町選挙管理委員会の選挙(指名推選)の結果

○選挙管理委員会委員  
当選者

- 須藤 壽 氏(再任)
- 戸沼 英哉氏(再任)
- 吉田 照生氏(再任)
- 水口 清治氏(新任)



水口清治氏(中村町)

○選挙管理委員会委員  
補充員当選者

- 第一順位 木村 辰男氏(新任)
- 第二順位 豊澤 紀講氏
- 第三順位 奈良 優 氏
- 第四順位 澤田 賢治氏(第一~第四順位は再任)

※選挙管理委員に欠員が生じたとき順位により補充されます。

### 解説 選挙管理委員

選挙管理委員は、選挙権を持つている人で、人格が高潔、政治および選挙に公正な識見を持つ人のうちから、議会の議員による選挙で選ばれます。(任期4年)

### ◆指名推選とは◆

議会において行いう選挙の方法の一つ。

議会が、特定の人をあらかじめ指名し、その人を当選人と定めるべきかどうかを会議に諮り、その結果、議員全員同意があった場合に、その人を当選人とする方法です。

議員に一人でも指名推選の方法に異議がある時は、投票により選挙を行います。

# 決算特別委員会

## 議会の提言・意見は反映されたのか

このページでは決算特別委員会に付託された平成27年度町一般会計決算の審議内容を一部抜粋、要約してお知らせします。

タウンプロモーションの事業内容と今後の展開は

長谷川議員

タウンプロモーション事業の内容はどうなっているか。

小笠原政策推進課長

まず町民、特に子供達に町に誇りを持つてもらう手段として、鱈ヶ沢テキストを作成中であり、28年度内に完成させたい。また、負けられないポスター等を活用し県内外にPRをしている。

意見 長谷川議員

ポスターは観光客にも評判が良いが、町外への発信だけでなく、町民がこの町を好きになる仕掛けづくりをお願いしたい。

有害獣対策の成果と捕獲数の確認方法は

一戸議員

有害獣対策の成果、捕獲数の確認方法はどうか。

一戸農林水産課長

5年前の調査結果よりサルの数が増えたが、頭数全体は減少している。捕獲の確認方法については、駆除委託している。猟友会から書面で報告を受けている。

一戸議員

実際頭数が減少したか

疑問も感じるが、サルの死体確認やアライグマ全捕獲など今後対策を厳しくする考えはないのか。

一戸農林水産課長

アライグマに関しては、箱わなを購入し貸し出す

など駆除に努めた結果、スイカの被害も減っており、今後もわな設置徹底の呼びかけをしていく。

今議員

畑のサル被害に対し、町側でわなを設置してくれないものか。

一戸農林水産課長

被害の連絡があれば、被害対策実施部隊と共にわなを設置している。

社会教育振興費の主な事業は

長谷川議員

社会教育の振興のためどんな事業を行ったのか。

工藤教育課長

新規事業では鱈ヶ沢の昔話を再編集したDVD製作、子どもの体験型事業あじっこチャレンジ教室などを実施した。

長谷川議員

再三議論してきた青年期、成年期に対する事業が決算に表れていないが、

28年度に取り組み考えはないのか。

工藤教育課長

9月補正予算に計上し、パソコン教室や英会話教室、地域づくりリーダー研修会の開催を予定している。それらの各種講座の実施により教養を深め、豊かな生活を送ることを目的とし、様々な年代、職業種との交流により人的ネットワークの形成に役立てていく。

来年度、より具体的な事業を展開していきたい。

固定資産税の不能欠損額を減らす対策はないのか

一戸議員

人口減少と都市部流入により町に残った田や山の相続手続きが年々難しくなる。不能欠損額としていよう対策を講じるべきではないか。

工藤税務町民課長

相続については法務局の依頼で、来年度から固定資産税納税通知書に促進パンフレットを同封する予定であり、納税者の意識向上に努めていく。

## 決算審査意見

### 「財政健全化へ引き続き努力を」

決算審査報告をする

増田代表監査委員



（金）は、返礼品充実等の努力が結実し、大幅に増加している。今後とも有効手段を講じ、獲得に努めていただきたい。

各特別会計では、国保税・介護保険料の収入未済額が多額であるため、その縮減に向けた対策を講じる必要がある。

平成27年度一般会計決算の状況を見ると、未だ多額の起債残高を有しているものの、財政調整基金の残高も標準財政規模から見た適正規模を満たしており、財政健全化への道筋にもようやく光明を見いだせる状況になっている。（関連記事 特集6ページ）

歳入では、町税の収入未済額、不能欠損額ともに増加している。納税義務を果たす町民の公平を期する上からも、未収金の解消に一層努力を望むものである。

ふるさと納税（寄附

【要望】町財政が回復基調に移行しつつある今、

図書コーナーのみ営業している日本海拠点館の施設全体の活用を論じる時宜ではないか。

早期に協議委員会等を立上げ、具体的な検討を望むものである。



# 特集

## 財政担当者に聞きました

### まちの財政状況ほんとうはどうなの？

### よじやく最低ラインを確保

平成27年度の各会計決算が9月議会において認定されました。増田監査委員の決算審査意見書では、27年度町一般会計の

総括的意見として「財政健全化への道筋にもようやく光明を見いだせる状況になっている」という

表現を使っていますが、光明を見いだせる状況とは、具体的にはどういうことなのか。実際の鱈ヶ

沢町の財政状況はどうなっているのか。これら

のことについて議会広報委員3名が町財政担当者に話を聞きました。

このページでは、その内容を、みなさんにお知らせします。

なお、質問者は、議会広報委員の東條議員(委員長)、今議員、菊谷議員の3名。回答者は、政策推進課千島財政班長です。

なっているのか。これら

のことについて議会広報委員3名が町財政担当者に話を聞きました。

このページでは、その内容を、みなさんにお知らせします。

なお、質問者は、議会広報委員の東條議員(委員長)、今議員、菊谷議員の3名。回答者は、政策推進課千島財政班長です。

の5パーセントは必要だとされています。

この基準からすれば、当町は、2億2500万円は必要になります。現在、財政調整基金は3億9794万円。減債基

金は2684万円あります。

※標準財政規模とはその地方公共団体の標準的な状態で、通常収入が見込まれる一般財源の規模を示す指標

鱈ヶ沢町の標準財政規模は約45億円(平成27年度)

※財政調整基金とは自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足

する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯

金

※減債基金とは地方債(借金)の返済を計画的に行うための資金

Q 当町の一般会計の決算は、平成20年度から平成24年度まで赤字決算に陥り、財政は危機的状況でしたが、貯金も増えて危機的状況は脱したと考

えていいのですか。  
A 27年度の当町の健全化比率は、実質公債費比率が16・9パーセント、将来負担比率が196・5パーセントとなっていますが、ようやく最低ラインを確保したという状況にあると理解してください。  
実質公債費比率は、最低ラインの基準が18パーセントで、この率を上回ると新しい借金をするときに制限がかかりますので、18パーセントを切ることを目標とし、計画的に取り組んできました。



消防署建設現場 (10月21日時点)



老朽化した町役場

ただし、27年度決算では、実質公債費比率が県内ワースト4位。将来負担比率は、県内ワースト2位にランキングしているのが現状です。

※実質公債費比率とは標準財政規模に対する公債費(借金)等の支出の割合

※将来負担比率とは標準財政規模に対し将来に負担すべき実質的な負債の比率

Q 今後、鱈ヶ沢町の財政は、どのような状況で推移していくと考えていますか。

A 当町の財政基盤は、住民税・固定資産税等の自主財源に乏しく、歳入の多くを地方交付税などに依存しています。

昨年、国勢調査が行われましたが、当町の人口も減っていることから地方交付税の変動も考えられるところです。

また、新消防庁舎移転の建設費5億5000万円の起債の償還をしなければいけませんし、今後2〜3年の間に行われる防災無線デジタル化についても相当な予算がかかることが予想されます。

さらに老朽化した役場庁舎の建て替え、移転も考えていかなければならない状況です。

これからは、緊縮財政を継続し、事業の実施と町民へのサービス還元とのバランスを考えて財政運用していくことが重要だと考えています。

財政状況について聞く広報委員



財政状況について聞く広報委員

未来を担う子どもたちの教育環境を考える

# 県立高校再編学習会

〈9月27日〉

県教育委員会（以下、県教委）は、平成30年度以降の県立高等学校の在り方を検討するため、平成28年8月青森県立高等学校教育改革推進計画（おおむね10年間）の基本方針を公表。

町議会では、地域にある高校の今後について、また、子どもたちを取り巻く教育環境、制度等について知識を深めるため本学習会を開催しました。

講師に県教育庁高等学校教育推進室、山本総括主幹を迎え、次のような説明を受けました。

昨年の中学校卒業生予定数は人口減少率が高い秋田県よりも少なく、今後10年間で3100人減少し、15年後には8416人になる推計である。少子高齢化の進行とゲ

ローバル化、情報通信技術（ICT）の伸展など社会の急速な変化の中で、県内の子どもたちが夢や志の実現に向けて成長できるといふ教育環境を推進していく必要がある、当計画を策定することとなった。

方針としては、基本となる学校標準規模は1学年4学級以上。

大学進学等に対応し中



基本方針の説明を熱心に聴く議員

核的役割を担う「重点校」、農業科・工業科・商業科の職業教育を主とする専門学科の「拠点校」、募集停止等により通学困難な地域が生じないように配慮する「地域校」を配置。  
各校が連携し、ICTを活用した教育活動などを行い、県全体で高校教育の質の確保、向上を図るものである。  
また、西北地区はもとも小規模校が多く、生徒数の減少幅も大きいのが現状とのことでした。  
参加した議員からは、「重点校と他校に学力格差が出るのでは」「地域に高校は必要である」「連携しても現実、小規模校から希望大学への進学は難しいのでは」「小、中学校と早い段階からの学力向上が必要ではないか」などの質問や意見がありました。

県教委では、各地区で実施している意見交換会で出された意見を反映し、来年度、地区ごとの具体的な学校規模・配置等の実施計画を示す予定となっております。

8月23日、県町村議会議長会主催による新人議員研修会が青森市で行われ、菊谷忠光議員が参加しました。

はじめに会長の澤口田子町議会議長が「地域住民の負託に応えるため、自らの手で議会改革する必要がある」とあいさつをしました。

次に、講師の新潟県立大学国際地域学部国際地域学教授田口一博氏が、「議会が、」議会の使命に

## ＜議員活動の基本を学ぶ＞ 新人議員研修会に参加

「発言の仕方、効果的な一般質問」と題し講演を行いました。一般質問をする際の準備や質問の仕方、議会終了後の対応などについて話されました。そのほか、議員活動で



研修会に参加した菊谷議員

は人脈づくり、各方面にネットワークをつくること、議会の議事決定においては議員間で合意形成を図ることの重要性。また、決算の見方、審査の着眼点について学びました。

## 東京鱒ヶ沢会 総会・交流会に出席



10月23日、東京浅草ビューホテルにおいて、平成28年度東京鱒ヶ沢会総会・交流会が開催されました。

交流会では一戸千代久議長が同会の発展を祈念し、乾杯の発声を行いました。

また、一戸議長は各テーブルで同郷の方々とふるさとや町議会の近況を話し、参加者と交流を深めました。



乾杯の発声をする一戸千代久議長





菊谷 忠光議員

# SBP事業で若者の育成を 答へ鱈ヶ沢高校の意向も踏まえ適切に対応

**喫煙場所を設ける  
考えはあるか**

**問・現在、鱈ヶ沢町役場敷地内を全面的に禁煙としていますが、その効果をお聞かせください。**  
**答弁・加藤健康ほけん課長**

たばこによる健康被害及び受動喫煙を防止する措置として、平成26年7月1日、あじがさわ健康宣言を機に役場敷地内を全面禁煙としています。このことにより職員及び来訪者は、たばこの煙の害から守られており、効果があるものと考えています。

**問・新たに喫煙場所を設ける考えはありませんか。**  
**答弁・加藤健康ほけん課長**

たばこによる健康被害を防止し、健康寿命を延

ばす方策として敷地内の全面禁煙の方策は重要でありますので、全面禁煙を続けていきたいと考えています。

**意見・今回は、一般町民の方から一部だけでも喫煙場所を設けてはどうかという声があり、質問させていただきます。**

役場の脇で吸っている人もあり、見栄えも悪いし、町民の方から不便ではないかという声もありますので、もしも新庁舎が建設されるときは、喫煙場所の設置をお願いしたいと思います。

**SBP事業に対する今後の対応は**

**問・SBP、ソーシャルビジネスプロジェクトについてお聞きします。**

今年から鱈ヶ沢、深浦中泊にある高校の生徒たちが合同で行っているS



セレクトギフトの商品選定で意見を交わす鱈ヶ沢高校SBP研究会

**B P事業ですが、はじめにその概要をお聞かせください。**

**答弁・斉藤観光商工課長**

SBP事業とは、地域のビジネス創出プロジェクトのことで、地域の良さ

を知り、地域を愛し、地域を自慢できるような人材を育てることを目的としています。

今回の事業は、具体的には、高校生の目線による新たな地域資源の発掘

や現在ある商品の磨き上げを行い、地域住民の協力を得ながら、高校生自らが商品を考え、パッケージを工夫し、地域素材を生かした商品を販売するということです。

**問・予算の内容はどうなっていますか。**

**答弁・斉藤観光商工課長**

平成28年度の予算は、青森県未来を変える元気事業費補助金という県の補助金を活用しています。県の補助金が93万円、町単独の予算57万円、総事業費150万円を充てています。

**問・当事業は、2年間、県から予算を補助していただいている事業だと聞いていますが、この2年間が経過した後、町ではどのような対応をしていくのでしょうか。**

**答弁・斉藤観光商工課長**

SBP事業をきっかけに、高校生が地域をよく知り、愛し、誇りを持つて、将来は地元で起業することも期待されることろであります。

このようなことから、今年度の活動状況や成果を検証し、鱈ヶ沢高校の意向も踏まえ、今後とも引き続き検討していきたいと考えています。

鱈ヶ沢単独になるか等についても、今年の実績を踏まえ検証し、適切な判断をしていきたいと考えています。

**意見・若い者はやはりひらめきがすばらしい。発想も大胆。経験がないだけです。**

みんな老いていく中、どうしても今の若い人に鱈ヶ沢の未来を託さなければならぬ。

ですから、鱈ヶ沢高校存続の危機も踏まえ、今こそ米百俵の精神で若者を育ててほしいと思います。

併せて、こんなにすばらしい事業をしているのに世間ではまだまだ知られていないようです。

もっと町民全体で応援できるように働きかけてほしいと思います。私も協力します。





鶴田 悦子議員

### 独り暮らしの男性の人数は

問・鱈ヶ沢町に独り暮らしの男性は、何人いるのでしょうか。

答弁・齋藤福祉衛生課長 65歳以上の方は、約1000人近くいますが、

その中で施設に入っている方、世帯分離しても実際は家族と住まわれている方を除くと、独り暮らしは約640人いうことになっていきます。

そのうち男性が約170名で、約27.6パーセントになっています。

### 独り暮らしの男性の困ることは

問・独り暮らしの男性で一番困るのはどんなことかをお聞きします。

行政の立場からご答弁ください。

## 独り暮らしの男性に対する支援は 答へ見守りの対応と各種保健事業を実施

答弁・齋藤福祉衛生課長

独り暮らしの方それぞれいろいろな困っていることはあると思いますが、町ではアンケートなどの調査は実施していませんので、何に困っていらっしやるのかは把握していません状況です。

### 健康面に対する行政の対応は

問・独り暮らしの男性の食事や一般健康問題に対して、行政ではどのような対応をしていますか。

答弁・齋藤福祉衛生課長 町では、独り暮らしの方々を対象に見守りを実施しています。

町には民生児童委員、主任児童委員合わせて54名いますが、その方々を通じて見守りを行っています。

また、町の委託事業として社会福祉協議会のほ

のほの協力員にも見守りをしていただいております。

何かあった場合には連絡が来ることになっていきます。

健康面の対応については、健康ほけん課の所管は、健康ほけん課の所管になると思います。

答弁・加藤健康ほけん課長 町では、独り暮らしの男性に限らず、町民を対

象とした保健事業を実施しています。保健師、栄養士が地区に出向き、健康相談や個別指導、また、老人クラブや町内会、各種団体の総会などで食事や健康に関する健康教育を行っています。

人数は、把握していませんが、この方々の中には独り暮らしの男性もいます。

また、男性の健康意識を向上させるために、県民局や保健所と連携協力し、各事業所を回り健康診査、がん検診の受診をお願いしています。

高齢者については、介護予防事業のなかで生きがいや社会参加の機会、づくり、運動教室のほか、認知や運動機能のチェックなどを



総会に出席する各地区の民生委員児童委員



栄養士による健康出前講座

ますし、特定検診の受診者に対しての保健指導では、男性の方の相談、指導件数が多い結果となっています。

また、男性の健康意識を向上させるために、県民局や保健所と連携協力し、各事業所を回り健康診査、がん検診の受診をお願いしています。

高年齢者については、介護予防事業のなかで生きがいや社会参加の機会、づくり、運動教室のほか、認知や運動機能のチェックなどを



齋藤 孝夫議員

# コミュニティバスの入札結果は 答へ町内の2事業者が落札

## 入札の落札業者と 落札額は

問・コミュニティバスの入札結果について質問します。

入札は、中型バスの2ブロックとジャンボタクシーの部分の3本で行われたようですが、落札した会社と額をお知らせください。

答弁・小笠原政策推進課長

ご指摘のとおり入札は、町内を中型輸送で走るAブロック、Bブロックの2本と定員10人以下の小型輸送1本の3本で行いました。

Aブロック、Bブロックには、それぞれ町内の2事業者、マルイチ工業株式会社、西海観光株式会社に参加しています。小型輸送は、西海観光

株式会社1社の参加です。

入札結果は、3年分の運行委託料、そして税込

送のAは、7路線28便で、

落札業者はマルイチ工業

株式会社。落札額は、2

億838万5460円。

中型輸送のBは、6路

線27便で、落札事業者は

西海観光株式会社。落札

額は1億8687万25

08円です。

小型輸送は、2路線2

便で、西海観光株式会社

の落札。金額は1412

万6400円です。

契約期間は、いずれも

本年6月10日から平成32

年の3月31日までとなっ

ています。

## 学校などの要望に 配慮したのか

問・目的外使用分について、学校などの要望は十分聞いたのか、また、目

的外使用の額はどのくら

いになったのかお知らせ

ください。

答弁・小笠原政策推進課

長

スクールバスの目的外

使用は、休日における学

校の部活動とか各種大会

等への送迎とか、社会科

見学などの校外活動等、

本来の通学を目的としな

いバスの利用のことであ

ります。

これは、学校等の事情

により運行される貸し

切りバスであることか

ら、乗り合いバスである

コミュニティバスの運行

とは、別のものでありま

すので、今回のコミュニ

ティバスの運行委託には、

スクールバスの目的外分

というものは、含まれて

いません。

このようにことに関わ

らず、来年度以降、コ

ミュニティバスが走ると

しても、これまでどおり

予算を確保し、目的外利

用できるようにしてい

たいと思っています。

本来の通学に当たる運

行時間の設定などにつ

ては、学校の要望を聞き、

協議を重ねているところ

です。

問・スクールバス目的外

使用の具体的な予算額を

教えてください。

答弁・小笠原政策推進課

長

27年度の実績は147

0万9393円となつて

います。

28年度の予算額は、1

600万円です。

問・生徒だけではなく一

般人との乗り合いになる

ことで、停留所も新たに

設置しなければなら

ない

など、担当課の職員はい

るいろ仕事量も増えて大

変だと思えますが、町民

がこの事業に対する期待

というのはかなりのもの

がありますので、ぜひ、

教えてください。

事故の状況については、

現在、警察で調査中です

が、教育委員会から事業

者はもちろん学校長等に

も通学の安全等の要請を

しました。

また、警察署や交通安

全対策協議会、道路の事

業所である鯉ヶ沢道路河

川事業所を交えて道路診

断等を実施し、いろいろな意見をいただいております。それらの対応に努めることとしております。



下校時、各路線へ出発するスクールバス





長谷川統一議員

### 地方創生関連事業の進捗状況は

問・国が押し進める地方創生に関して、各地方自治体がこぞつていろいろな計画を作成し、進めていますが、当町における地方創生関連事業の進捗状況は、どのような状況になっていますか。

答弁・田附地方創生推進室長

昨年度策定した※鯨ヶ沢町総合戦略には、雇用の創出、移住、定住の促進、子育て支援、町民の元氣推進の4つの政策分野があります。

政策分野ごとに合わせて40事業ほどが計画されていますが、すでに実施している事業では、※インバウンド対策としての外国人旅行者受け入れ態勢構築事業があります。

## 地域商社構築事業の積極的な取り組みを答へ構築に向けて庁内に検討する場を設置

この事業においては、町のふるさと大使である舞の海がプロデュースしたオリジナルの鍋料理や山菜等を活用した薬膳料理を開発しています。

また、今年度からは、自生する植物の栽培方法を確立し、農業者の所得向上と雇用の確保につなげるための事業として、山菜のワラビや自生する生薬のセンブリ、ハマボウフウなどの試験栽培を行っています。

### 用語解説

#### ※創生総合戦略とは

国では、平成26年、加速度的に進む人口減少対策として東京圏の人口一極集中の是正、地域における就業機会の創出などに対応するため「まち・ひと・しごと創生法」を施行。同法により地方公共団体に創生総合戦略の

策定が義務付けられました。鯨ヶ沢町では、平成27年12月に策定。

#### ※インバウンドとは

入ってくる、到着するという意味の形容詞。観光用語として「訪日外国人旅行」のこと。

### 地域商社構築について町の考えは

問・地方創生関連事業のなかでも地域商社構築事業は、1次産業従事者の多い当町においては、所得向上の観点からも住民にとつて期待のおける事業だと思えます。

この事業について、町ではどのように考えているのか、お答えください。

答弁・田附地方創生推進室長

地域商社構築事業は、しごと創生を進める上で、国でも積極的に活用を求めている事業の一つです。

低迷が続く町の産業に活力を与え、元氣を取り戻すためにも、新たな販路を開拓し、販売していく組織が必要と考えています。

そのため、徹底したマーケティングを行い、経営形態や運営方法、また事業規模など、地域の実情に合ったものを慎重に議論するため、庁内に検討する場を設けたところであります。

現在、構想中の地域商社は、町の物産、観光、文化など、あらゆる地域資源に付加価値を付け、全体をコーディネートしていくものと想定していますので、所得向上や雇用促進など、地域経済に大きな効果があるものと考えています。

問・基幹産業である1次産業の所得向上は、当町における課題の一番先に

来なければいけない問題だと思っています。町としてこれら積極的に取り組んでいくのだという姿勢を住民に伝えていかなければいけないと思いますが、町長の考えはいかがでしょうか。

答弁・東條町長

地域経済を活発にするには、雇用や定住の促進を図る事業が必要だと十分感じています。その実現に向けて、地方創生への取り組みをこれから進めていきたいと思っています。

### 合宿誘致事業の今後の見通しは

問・若い世代の交流人口の増加の観点から考えると、合宿誘致事業はかなりの効果が期待できるものと思えますが、今後の見通しをお答え願います。

答弁・田附地方創生推進室長

合宿誘致をすることにより既存の施設の活用、町の知名度アップ、スポーツのレベルアップ、

昨年12月に策定された鯨ヶ沢町総合戦略



大学生などによるフィールドワークといったスポーツ、文化両面での交流人口の増加が期待されるほか、地元住民が交流することにより、地域の誇りや愛着を醸成する契機となる可能性もあります。

今後、合宿誘致を進めるに当たっては、必ずしも立派な宿泊施設やスポーツ施設が初めから必要ということではなく、この地域で利用できるものが何かを考え、そして、既存の施設を有効に活用し、受け入れ態勢を整えながら担当課とも協議して進めていきたいと考えています。



トウモロコシ積載の外航船に乗り込む (大きなあ、足元怖い、高いなあ)

# R e p o r t

## 議員行政視察

### ◆七里長浜港の可能性は ◆議会改革先進地の取り組みは

町議会では、七里長浜港の将来の可能性を探ること、また、議会改革先進地での意見交換を行うことを主目的に10月5日、6日、八戸市及び六戸町において議員行政視察を実施しました。その視察内容を菊谷忠光議員がレポートします。

七里長浜港を  
どう活用すれ  
ばよいのか

東北グレイン  
ターミナル

われわれ一行の最初の視察地は、八戸港に隣接

### 平成28年 議会行政視察日程

<10月5日(水)>

- ・東北グレインターミナル
- ・八戸鉱山

<10月6日(木)>

- ・八戸ポータルミュージアムはっち
- ・六戸町議会

250メートル。北米からトウモロコシ6万トン

このタンカーは、全長

このタンカーは、全長

まず、会社の概要について説明を受けた後、同社の自社埠頭に停泊中のパナマ船籍タンカーを見学させていただいた。

ループである。

する東北グレインターミナル(株)である。

北海道、青森・岩手・

秋田の北東北一帯に家畜

の飼料を供給している同

社の株主は、あの自動車

産業で有名なトヨタグ

を積みこんできた。

同社では、このトウモ

ロコシを荷役設備、搬入

コンベアを使い、1週間

かけてタンカーから直接

自社サイロに運び込むと

いう。

東北グレインターミナルは、年間約140万トンの飼料(おもにトウモ



佐藤代表取締役(左端)の説明に耳を傾ける議員

ロコシ、マイロ、大豆粕(など)を南米、北米、その他各国から大型船で海上輸送し、自社ターミナルに設置された機械で荷受け。さらに連携飼料会社7社を通して畜産生産者へと物流しているが、七里長浜港と比べて規模の違いがあまりにも大きい。

埠頭にあつては企業が設立し、経営稼働するために建設された経緯があり、大型船が接岸できず更地に近い七里長浜港とは全く違う。

施設見学後は、同社、佐藤代表取締役と意見交換を行った。

そのなかで佐藤代表取締役は、七里長浜港は、位置的に飼料米の生産等津軽地域の農業振興に寄与し、北東北の畜産業を担う港湾になり得るとしながらも次のような苦言も呈した。

「規模に見合ったことをさがしてみてもどうか。ただし、荷役設備等のインフラの整備は必要で



す」

佐藤代表取締役は、昨年、金融機関が主催し、五所川原市で行った会議（飼料米生産者、県、市町村職員が参加）において七里長浜港サイロ構想を提案した。

これは、七里長浜港にサイロを建設し、同港を津軽地方で生産された飼料米備蓄及び海上輸送の拠点にする構想であるが、さて、どうなるのであろうか。

沢山の農作物が作られている津軽平野の流通拠点になれるのだろうか。

## 八戸鉱山

七里長浜港の物流貨物は、主に石灰石（移入）、砂（移出）等の建設骨材である。

石灰石は、北海道上磯産、本県、尻屋産と八戸鉱山産のものが主だが、そのうち約30パーセントが八戸鉱山から移入されている。

そこで、七里長浜港に



最深部海拔下170mの採掘場（いやいや大きい、深いやべぞ、鉱山内は歩くなあ 疲れた）

移入されている石灰石の採掘現場とその状況を改めて学習しようと、八戸キャニオンと呼ばれ、全国的にも有名な八戸鉱山（株）を訪ねた。

一行は、同社が用意してくれたマイクロバスに乗り込み、採掘現場へ。バスは、鉱山内の道路を、円を描くように最深部に向かってゆっくりと下っていく。

八戸鉱山を見るのは、研修に参加した議員、みなはじめてのようだったが、まるでグランドキャニオンばりの露天掘りのダイナミックさに驚愕の様子だった。

鉱山の最深部は、海拔下170メートルとのこと。もちろん、国内の鉱山でこれほどまでに掘り下げているところは少ない。

八戸鉱山では、最良質の石灰石を高度な技術で採掘。それを粉砕、さらに市街地を通る地下トンネル内のベルトコンベアを使って10キロ先の自社埠頭まで輸送運搬している。

八戸鉱山産の石灰石は、コンクリートなどの原料として、また、鹿島製鉄所などの焼結（鉄を生成するとき不純物を取り除く）原料などとして使われているが、品質も良いため需要が多く、鉱山内の機械等を24時間稼働させて供給に努めているとのことだった。



プラントで各製品（セメント原料など）が作られる



中央操作室において粉砕作業等を遠隔操作で行っている

## 日本海拠点館の利用方法を模索

### 八戸ポータルミュージアムはっち

『八戸ポータルミュージアムはっち』は、交流と創造の拠点として、また、観光と文化にふれあう施設として街の中心街に5年前にオープン。施設内では八戸市内及びその周辺地域の情報を探索することができる。

なかでも館内に低額で店舗を出店できるシステム、あくまでも木のぬくもりにもこだわった子供の遊び場空間が、この街の想いや未来を生み出す応援設備であると感じた。また、施設5階には貸館としてアーティストが長期滞在し創作活動を行うレジデンスや会議等を行うスペースがあり、当日、何組か利用していた。当町の日本海拠点館の利活用の参考としたい。

〈14ページへ続く〉

# Report

## 議員行政視察



六戸町イメージキャラクターメイプルくん

### 議会改革 先進地に学ぶ

〔13ページから続く〕

### 六戸町議会

六戸町は、鱈ヶ沢町とほぼ同じ人口規模で、青森シヤモロツクやニンニク、ゴボウなどの農産物が特産品である。



六戸町の議会改革の取組みに対し、質問する長谷川議員（議会改革特別委員長）

わが議会では、議会改革特別委員会を立上げ、現在、改革項目等について調査検討しているところだが、この町の議会がどのような考えのもと議会改革を実践しているのか、その実情はどのようなものなのか興味があった。

一行は、六戸町役場を訪れ、意見交換を行った。六戸町議会からは、円子

①町民参加  
町民や各団体へ議会の報告会、意見交換会を実施。町民の声を聞き町へ

②開かれた議会  
議長はじめ、議会運営委員、議会事務局が出席した。

六戸町議会の取り組みの一つは、町民に開かれた身近な議会をめざした六戸町議会基本条例の制定である。

③活発な討議  
一般質問は原則一問一答、町長とは対面方式、一人60分以内何回でも質問できる。

④監視、検証、評価  
町長等の事務執行について、また、一般質問に対する町の回答について監視、検証、評価する。

これらが条例で謳われている。円子議長の説明で、特に興味があったのは、各団体との意見交換会。六戸町では、議員と町民との意見交換会が定期的に行われている。

意見交換会は、テーマを決めて、そのテーマに沿って意見を出し合っているということだが、なかでも議員と高校生グループとのやり取りが印象的だった。映像を使って説明していただいたが、若者の政

反映させる。議会広報の充実、各委員会の原則公開や議会活動の情報公開。



町民や大学生との意見交換会で出された意見などが書かれた模造紙



パワーポイントを使用し説明する六戸町議会円子議長

行政視察を終えて  
まだまだ鱈ヶ沢町は、沢山の問題を抱えている。七里長浜港にしろ、日本海拠点館にしろ、このままでは無用の長物になってしまう。

この町の将来のため今、何を考え、何をしなければならぬのか。われわれにできること。議会が変われば町長が変わる。町長が変われば職員が変わる。職員が変われば町民、まちが変わる。これを言った六戸町議会円子議長の言葉が忘れられない。相手を変えたいのであれば、まず自分からということですね。今回はかなりハードなスケジュールだったが、大変意味のある研修だった。みなさんお疲れさまでした。

〔記 菊谷 忠光〕